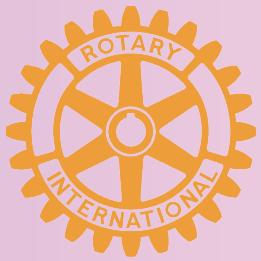


2021-22 年度 創立 56 周年
クラブ週報

東京城東ロータリークラブ

Rotary



2022. 4. 18 第2544回例会

会長テーマ 宇都宮秀雄

『 今ここ 手に手をつなぎ
ロータリーを楽しもう！ 』

国際ロータリー会長
シェカール・メータ
第2580地区 ガバナー
若林英博
第2580地区 幹事
新保雅敏
(当クラブ担当)
ガバナー補佐：岡本隆一
東分区幹事：三宅郁子



奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために

例会日：毎週月曜日 12:30 ~ 13:30

例会場：東武ホテルレバント東京

〒130-0013 墨田区錦糸 1-2-2 Tel:03-5611-5511

事務局：〒130-0013 墨田区錦糸 1-1-5 A ビル

Tel:03-5637-4605 Fax:03-5637-4611

E-mail : jyoto@club.email.ne.jp

会長：宇都宮秀雄

副会長：篠田 秀樹

幹事：池永 憲明

副幹事：村上 慎吾

会報委員長：青木 桂三



2022/4/11(月)
「インボイス制度導入のポイント」
今井 邦彦 会員

2022年4月11日 例会報告

点 鐘

ロータリーソング(静聴)

「手に手つないで」

ゲストスピーカー

0名

ゲスト及びビジター

1名

会員出席状況

36名中28名(出席率77.78%)

【会場28名・オンライン0名】

本日の卓話

「経済安全保障 (技術情報等の流出防止)
について」

本所警察署 田久保 道夫 様

「本所警察署管内の特殊詐欺について」
本所警察署 金澤 勝明 様

ニコニコボックス

○今井さん、本日の卓話楽しみにしています。

宇都宮秀雄君・池永憲明君・篠田秀樹君・村上慎吾君
丸山智正君・上條隆志君・大澤悦子君・鈴木竹敏君
石川 勲君・奈良康司君・積田喜一君・山口幸一君
渡辺孝至君・青木桂三君・秦 弘志君・小山敦志君
秋山恭一郎君・山田 昇君・齊藤榮一君・中村浩紹君
○第5回クラブ協議会よろしくお願ひ致します。

宇都宮秀雄君・池永憲明君・篠田秀樹君
村上慎吾君・今井邦彦君

○卓話致します。

今井邦彦君

小計￥65,000.- 累計￥1,413,000.-

- 来月5月の受付当番 -

小山君/篠田(秀)君/杉田君

※次週以降、ゴールデンウィークの例会変更につきましては、次ページの予定表をご確認ください。

次回の卓話 (5/9)

「ホテルマンから見たロータリアン」

東武ホテルレバント東京 料飲部支配人
松下 豊弘 様

会員皆様よりのご投稿を隨時募集しています！

Tokyo-Jyoto Rotary Club 2021-2022



R | ニュース : 2022.4.5



ロータリーのネットワークがウクライナ難民に迅速な人道支援

ウクライナでの戦争により、民間人の避難が余儀なくされ、深刻な人道的影響が出ています。国連によると、350万人以上（その大半は女性と子ども）が近隣諸国とヨーロッパ全域に避難し、ウクライナ国内の避難民も約700万人に上っています。

難民に食糧、水、医療、シェルターを提供するため、欧州や世界各地のロータリークラブとローターアクトクラブが、周辺地域の会員とともに迅速に支援活動に乗り出しています。ロータリー財団は、ロータリー地区が実施している救援活動を支えるために世界中のロータリー会員や一般の方々が寄付することのできる正式な窓口を設置しました。財団は、その主な窓口として災害救援基金を指定しました。現在までに880万ドル以上のご寄付がこの基金に寄せられています。

以下に、4月1日時点での最新のプロジェクトをいくつかご紹介します。

- ・第2231地区（ポーランド）のクラブは、50,000ドルの災害救援補助金を活用して、ウクライナから逃ってきた難民に移動手段、宿泊場所、食料、医療援助を提供しています。

- ・第2240地区（チェコ共和国）は、被災者のために寝袋、医薬品、食料、除細動器、心電図装置、酸素濃縮器など5万ドル相当の物資を購入しました。

- ・ドイツの地区ガバナーは、会員による取り組みやオンラインでの支援活動の調整にあたる全国規模のタスクフォースを設置しました。政府機関や非政府組織との窓口となるタスクフォースの事務局は、ベルリンに設置されています。

- ・フランス全土のロータリークラブが力を結集して、難民のための必要物資の収集と配布にあたっています。国内のクラブから寄せられた寄付と物資は、地区ガバナーが取りまとめ、ウクライナのロータリークラブの支援のほか、ポーランドとルーマニア経由でやってきた難民の支援や、これらの国にいる難民のフランス移送などに役立てています。ニーズの特定は、フランスがかかわる複数の国際共同委員会が行っています。

- ・第1910地区（オーストリア）は、25,000ドルの災害救援補助金を活用して、オーストリアに逃ってきたウクライナ難民のために、宿泊場所、ベビー用品、医薬品、衛生用品、心のケア、食料、電化製品などを提供しています。

○ウクライナ

ウクライナには62のロータリークラブと6の衛星クラブがあり、その会員数は約1,100人です。また24のロータークトクラブがあり、その会員数は300人以上です。

- ・第2232地区（ウクライナとベラルーシ）は、この危機の影響を受けた人びとを支援するための委員会を結成しました。委員会は、生活必需品を確保するための募金に乗り出し、世界中のロータリー会員に支援を呼びかけています。

- ・リヴィウ市には、ウクライナの他の都市からの避難民が流入しています。リヴィウ・インターナショナル・ロータリークラブは、地方自治体や主要病院と協力して、避難民がアクセスできる救援物資のオンラインリストを作成しました。寄贈物資を病院に届け、現地の倉庫で保管するための手配は、会員たちが行っています。

○ポーランド

ポーランドは100万人以上の難民を受け入れており、国内のロータリークラブが寄付の窓口となる口座を開設しました。

- ・オルシュティンロータリークラブは、地元市民センターに設置された難民キャンプに滞在する150人以上のウクライナ人のために寄付を集めました。難民の多くは、ウクライナにいる親元を離れてやつてきた身寄りのない子どもたちです。センターが難民の受け入れを開始してから数時間以内に、食料、衣類、洗面用品、おもちゃなどの物資をいっぱいに積んだ4台の車が寄贈されました。

- ・ザモシチ・ロータリークラブは、医療用品の流通会社を経営するボルシュティン・ロータリークラブの会員と協力して、物資や医療用品を集めるために他団体との連携を手配しました。

- ・グダニスク・セントラム・ロータリークラブは、難民である4家庭に宿泊施設を提供し、会社経営者である会員たちがこれらの家族に仕事を提供しています。

○4月後半～GWの行事予定

4月18日(月) 12:30～ 通常例会

4月19日(火) 15:00～ 地区米山奨学生カウンセラーオリエンテーション
(ニューオータニ)

4月23日(土) 観藤夜間例会中止

4月25日(月) 祝日週休会(昭和の日)

5月 2日(月) 祝日週休会(GW)

5月 9日(月) 11:30～ 第11回理事役員会
12:30～ 通常例会